



# Cisco Catalyst サービスモジュールの取り付け

このセクションでは、Cisco Catalyst 8300 シリーズ エッジプラットフォームに Cisco Catalyst サービスモジュールを取り付ける方法について説明します。Cisco Catalyst 8300 シリーズ エッジプラットフォームでサポートされるサービスモジュールは次のとおりです。

- C-SM-16P4M2X
- C-SM-40P8M2X

サポートされている SM の詳細については、[cisco.com](https://www.cisco.com) の Cisco Catalyst 8300 シリーズ エッジプラットフォームの[データシート](#)を参照してください。



- (注)
- 一度に1つのシャーシ内でサポートされるサービスモジュールは1つだけです。
  - スイッチングモードを切り替える必要がある場合は、システムをリロードします。
  - モジュールの活性挿抜を実行できます。サービスモジュールを取り付けたら、システムをリロードして、次世代スイッチング機能セットを有効にしてアクティブにする必要があります。

- [設置の準備 \(1 ページ\)](#)
- [必要な工具類 \(2 ページ\)](#)
- [Cisco Catalyst サービスモジュールの取り外し \(2 ページ\)](#)
- [Cisco Catalyst サービスモジュールの取り付け \(2 ページ\)](#)

## 設置の準備

次のセクションでは、安全上の警告、一般的なメンテナンスのガイドライン、サービスモジュールを設置および使用する前に読む必要がある安全に関する推奨事項について説明します。

## 必要な工具類

- 最大トルクが 15 lbf-in (pound-force-inch) の、No.2 プラスヘッド付きのラチェット式ドライバ
- ワイヤストリッパ
- 単一孔アース接続の場合は、12 ゲージの銅製アース線（絶縁被膜付きまたは絶縁被膜なし）
- 単一孔アースラグおよびネジ（アクセサリキットに同梱）
- 14 ゲージの銅線（×4）

## Cisco Catalyst サービスモジュールの取り外し

シャーシからサービスモジュールを取り外すには、次の手順を実行します。

- 
- ステップ 1** モジュールを交換する前に、「安全上の警告」をお読みください。
- ステップ 2** 取り外すサービスモジュールの位置を確認します。
- ステップ 3** No.1 プラスドライバまたはマイナスドライバーを使用して、モジュール前面プレートの非脱落型取り付けネジを緩めます。
- ステップ 4** モジュールをシャーシから引き出します。
- ステップ 5** モジュールについては、ラッチを開いた状態にしてシャーシからモジュールを引き出します。
- ステップ 6** 静電放電 (ESD) による損傷から保護するために、サービスモジュールを静電気防止袋に入れます。
- 

## Cisco Catalyst サービスモジュールの取り付け

このセクションでは、サービスモジュールの取り付け方法について説明します。



---

(注) 説明のために、Cisco C-SM-X-16P4M2X および C-SM-X-40P8M2X のイメージを使用しました。

---

デバイスが起動したら、C-SM-X-16P4M2X または C-SM-X-40P8M2X モジュールをシャーシのスロットに挿入します。次のようにシステムメッセージが表示されます。 *Jun 10 13:58:14.367 CST: %IOMD-3-UNSUPPORTED\_NGSWITCH: R0/0: iomd:*

このメッセージは、システムがレガシースイッチングモードであることを示します。レガシースイッチングモードを有効にするには、SM-X-16P4M2X サービスモジュールのスイッチモジュール

ルのスロット 1 ベイ 0 をリロードする必要があります。また、モジュールを動作させるにはデバイスをリロードする必要があります。

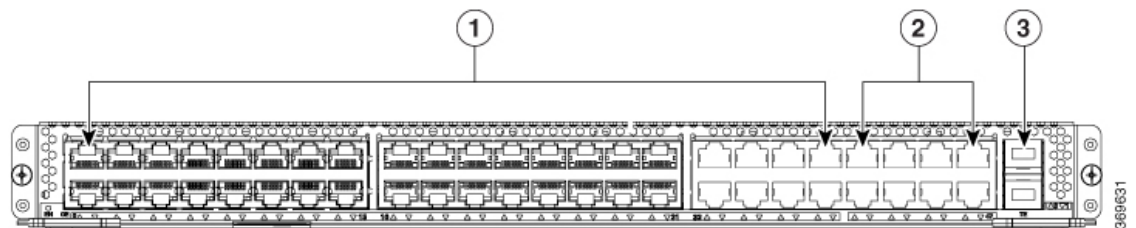


**注意** C-SM-X-16P4M2X または C-SM-X-40P8M2X サービスモジュールの取り付けまたは取り外し時には、常に静電放電 (ESD) 防止用リストストラップを肌に密着させて着用してください。リストストラップの装置側をシャーシの金属部分に接続します。



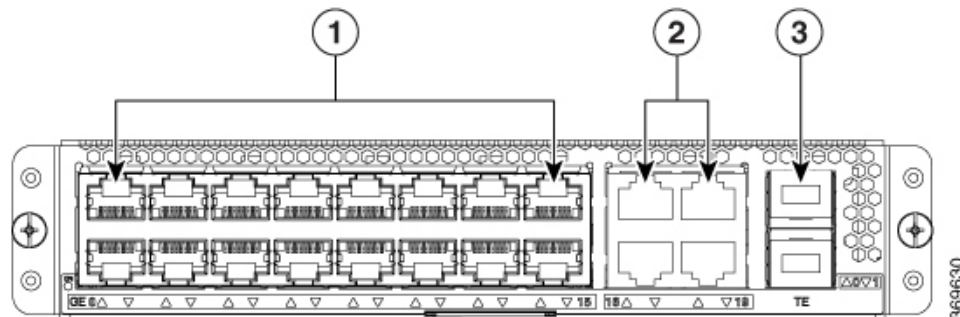
**注意** サービスモジュールは端だけを持つようにしてください。サービスモジュールは静電気放電 (ESD) の影響を受けやすいコンポーネントなので、扱いを誤ると故障する可能性があります。

図 1: ダブル幅サービスモジュールの前面パネル



|   |                                 |   |                     |
|---|---------------------------------|---|---------------------|
| 1 | GE 銅線ポート                        | 3 | 1G/10G SFP/SFP+ ポート |
| 2 | MultiGigabitEthernet ポート (2.5G) |   |                     |

図 2: シングル幅サービスモジュールの前面パネル



|   |                 |   |                     |
|---|-----------------|---|---------------------|
| 1 | GE 銅線ポート        | 3 | 1G/10G SFP/SFP+ ポート |
| 2 | 2.5G mGiG 銅線ポート |   |                     |

サービスモジュールをデバイスに取り付ける手順は次のとおりです。

**ステップ 1** モジュールを交換する前に、「安全上の警告」をお読みください。

- ステップ 2** モジュールについては、使用するスロットに取り付けられているブランク前面プレートを取り外します。
- ステップ 3** モジュールについては、使用するスロットに取り付けられているブランク前面プレートとディバイダの両方を取り外します。
- (注) 1つのサービスモードスロットに挿入できるシングル幅サービスモジュールです。ただし、ダブル幅サービスモジュール (C-SM-X-40G8M2X) のポートは、2つのスロットを並べて取り付ける必要があります。
- ステップ 4** サービスモジュールでは、エッジコネクタがバックプレーンのコネクタに完全に装着された手応えがあるまで、モジュールを所定の位置に押し込みます。モジュールの前面プレートがシャーシのパネルに接する必要があります。
- ステップ 5** ダブル幅サービスモジュール (C-SM-X-40P8M2X) については、モジュールを挿入する前にラッチを開いた状態にします。ラッチは、ネジを固定する前にモジュールを完全に挿入するのに役立ちます。
- ステップ 6** No.1 プラス ドライバまたはマイナス ドライバを使用して、モジュール前面プレートの非脱落型取り付けネジを締めます。
-

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。